

平成 29 (2017) 年 7 月 2 日

第 4・5 学年保護者の皆さま

神戸大学附属中等教育学校
校長 藤田 裕嗣

平成 30 (2018) 年度グローバル・アクション・プログラム (GAP) に係る
国内・海外研修事業の御案内

大暑の候、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。
平素は、本校の教育活動の推進に、御理解と御協力を賜り、まことにありがとうございます。
さて、標題の事業について下記のとおり御案内いたします。
応募を希望される方は、応募書類を締切日までにグローバル教育推進室まで提出してください。

記

【事業 1】

- (1) 事業名 「第 12 回全日本高校模擬国連大会」
- (2) 主催 Global Classrooms
- (3) 期間 平成 30 年 11 月 17 日 (土) ～11 月 18 日 (日) [2 日間] (予定)
※11 月 16 日 (金) より宿泊します。
- (4) 場所 国際連合大学本部 (東京都渋谷区)
- (5) 対象 4 年生・5 年生 1 校につき 2 名 1 組の 2 組まで応募可能
※1 次選考課題 (9 月 7 日 (金) 締切) による書類選考で本大会出場が決定します。
- (6) 内容 国連の多国間外交をロールプレイで学ぶことで、国際連合に及び国際関係に関する研究と正確な理解、解決策を考察します。今年度のテーマは「武器移転」(Arms Transfers) です。
- (7) 費用 往路交通費 (JR 住吉駅起点・新幹線利用) は SGH 経費より支援します。
復路交通費、宿泊費その他個人経費は自己負担 (35,000 円程度) をお願いします。
- (8) 参加資格 国際的課題について関心があり、選考課題および議題について文献を調査し、英語でスピーチ等が作成できること。大会参加の準備に際し、かなりの時間を割く必要があります。
- (9) 選考方法 応募書類を学業成績及び英語力等とあわせて審査し、応募生徒を決定します。

- (10) 申込方法 申込書をグローバル教育推進室または学年より入手し、書類選考課題4つのうち、以下の一番目の課題(手書き、ワープロ両方可)を申込書に添付して7月17日(火)17:00までにグローバル教育推進室まで提出すること。

〔課題〕

「課題図書 {沖大幹『水の未来ーグローバルリスクと日本ー』(岩波新書, 2016) } 第1章「地球の水の何が問題か」と終章「未来可能性の構築に向けて」を読んで、地球の水について最も重要な問題点は何か、その解決には何が必要なのか、筆者の意見を読んでまとめなさい。(500字以内)」

- (11) 照会先 木下(職員室 研究部)

〔事業2〕

- (1) 事業名 「『世界津波の日』2018 高校生サミット in 和歌山」
- (2) 主催 和歌山県、和歌山県教育委員会、広川町、広川町教育委員会
共催 国連国際防災戦略事務局 (UNISDR) 駐日事務所 (予定)
- (3) 期間 平成30年10月31日(水)～11月1日(木)
※派遣期間中の授業は「公認欠席」扱いとします。
- (4) 場所 和歌山ビッグホエール他(和歌山市手平2丁目1-1)
- (5) 対象 4年生・5年生3名
※今後、年間を通して本校生徒会グローバル・キャリア・コミッティー「震災・復興・減災プロジェクト(DR3)」のメンバーとして同プロジェクトの様々な活動に参加できる生徒。
※本事業はDR3活動の一環として参加するものです。
- (6) 内容 海外48カ国約300名及び国内参加者約150名が参加します。テーマ別に討議し、参加者同士の交流を図ります。使用言語は英語です。
- (7) 費用 会場までの交通費(JR住吉起点)は本校SGH経費より支援します。宿泊費・食費等(1万円未満)は自己負担です。
- (8) 選考方法 応募書類を学業成績及び英語力等とあわせて審査し、応募生徒を決定します。
- (9) 申込方法 申込書をグローバル教育推進室または学年より入手し、本プログラムに参加を志望する理由を英語と日本語を合わせてA41枚程度(手書き・ワープロ両方可)にまとめ、申込書に添付して7月10日(火)17:00までにグローバル教育推進室まで提出すること。
- (10) 照会先 同サミット担当 石丸(職員室 生徒指導部)・グローバル教育推進室 岩見

【事業3】

- (1) 事業名 「米国シアトル研修 (Global Science in Seattle)」
- (2) 主催 本校
- (3) 期間 平成30年10月5日(金)～10月14日(日) [10日間]
※派遣期間中および帰国後10月16日(月)の授業は「公認欠席」扱いとします。
※米国滞在中は交流相手校 International Community School (ICS) の生徒の家庭に滞在する予定です。
- (4) 対象 4年生 5名
- (5) 内容 “Global Science in Seattle” をテーマに、マイクロソフトやボーイング社等の企業を見学するとともに、ICS 訪問において同校生徒に課題研究の成果を発信し、意見交換を行います。
- (6) 費用 往路航空運賃は本校 SGH 経費より支援します。
復路航空運賃、パスポート取得費用、海外旅行保険料、空港までの交通費、施設見学科等、現地活動費その他個人経費(11万円程度)は自己負担をお願いします。受入れ校の事情により、自己負担費用が増減する場合があります。
- (7) 参加資格 現地において、滞在する家族や交流校の生徒と英語を用いて積極的に交流し、個人の課題研究についての調査に意欲的に取り組むことができること。
- (8) 選考方法 応募書類と日本語と英語による個人面接(書類選考通過者対象。7月13日(金)放課後を予定。)の結果を学業成等とあわせて審査し、参加生徒を決定します。
※事業4の「ベトナムハノイ研修」と合わせて応募することは可能ですが、参加できるのは1つのプログラムのみです。
※これまでホームステイ受入れをしていただいた方、および10月13日(土)～10月20日(土)に予定しているベトナム生徒のホームステイ受入れに御協力をいただける方は、選考の際一定の配慮をさせていただく場合があります。
- (9) 申込方法 申込書(日・英課題作文有・別途配布)をグローバル教育推進室または学年より入手し、7月10日(火)17:00までにグローバル教育推進室まで提出すること。
- (10) 照会先 グローバル教育推進室 岩見

【事業4】

- (1) 事業名 「ベトナムハノイ研修 (ベトナムにみるグローバル化の現在)」
- (2) 主催 本校
- (3) 期間 平成30年11月16日(金)～11月24日(土) [9日間] (予定)
※派遣期間中の授業は「公認欠席」扱いとします。
- (4) 対象 4年生6名
- (5) 内容 現地交流校生徒との交流及び調査活動を通して、東南アジアにおける平和及び異文

化理解について深めるとともに、ベトナムにおける民族独立の歴史、経済発展の成果と課題について学びます。

※ベトナム滞在中は、ホテル及び交流相手校のハノイ国家大学外国語大学附属外国語英才高等学校（FLSS）の日本語専攻の生徒の家庭に滞在する予定です。

- (6) 費用 往路航空運賃は本校 SGH 経費より支援します。
パスポート取得費用、海外旅行保険料、宿泊費、空港までの交通費、現地交通費、施設見学料等、現地活動費その他個人経費（7万円程度）は自己負担をお願いします。受入れ校の事情により、自己負担費用が増減する場合があります。
- (7) 参加資格 現地において、滞在する家族や交流校の生徒と積極的に交流し、個人の課題研究についての調査に意欲的に取り組むことができること。
- (8) 選考方法 応募書類と日本語による個人面接（書類選考通過者対象。7月17日（火）放課後を予定。）の結果を学業成等とあわせて審査し、参加生徒を決定します。
※事業3の「米国シアトル研修」と合わせて応募することは可能ですが、参加できるのは1つのプログラムのみです。
※平成30年10月13日（土）～10月20日（土）までの9日間、交流校の日本語専攻の生徒（10名）を本校に受け入れます。ホームステイを受け入れてくださる方については、これまでホームステイ受入れに御協力いただいた方と同様、本事業選考の際、一定の配慮をさせていただく場合があります。
- (9) 申込方法 申込書(日・英課題作文有・別途配布)をグローバル教育推進室または学年より入手し、7月10日（火）17:00までにグローバル教育推進室まで提出すること。
- (10) 照会先 グローバル教育推進室 岩見

[その他]

※要支援家庭の生徒については、交通費及び宿泊費その他活動費についても支援します。

※本案内は申込書とあわせて近日中に本校 HP にも掲載します。

※海外研修のうち、台湾研修（ASEP）（4・5年生対象 12月実施）、英国研修（5年生対象 12月または1月実施）およびカンボジア研修（4・5年生対象 1月実施）については後日案内します（9月初旬締切の予定）。